

欲望と暴力
(20240128)

話合いで折り合いをつけないで暴力になってしまうのはなぜか

物質的には足りている国が何を求めて戦争をするのか

ロシア・ウクライナ戦争→互いに己の正当性を主張

それぞれ正さ・正義を求めて白黒つけたいくなる

不安だから。自信がない。

何故、何に不安を覚えるか

社会的な不安

ドストエフスキーの罪と罰→人の道

人を殺すという罪を犯したらどういう罰を受けるか

神か人か。神(聖書)の愛により救済

倫理、教育→高い道徳性を獲得

専制主義→暴力を許しているのはなぜか

覇権主義→神も人も認めない

専制者は自分の望むところに暴力で従わせる

共同体が悪を批判しなくなる→戦争

となりの人、違う共同体、違う民族、異文化、宗教と文→不安が生じ争いになる

格差が広がる

ことば「汝殺すなかれ」という掟(聖書)

人間が人間を殺し合ってきた中から生まれてきたことば、掟

背後には憎しみの充足、殺人欲が潜んでいる

利害が生じる

人の心〇〇第一

もともと持っている欲、または正義→曲げない

愛する者への悲哀→自らの分身

人間の存立そのものが脅かされる→不安、欲望

人間存立の危機感

死を前提としている

人間は簡単に人を殺す

現代の戦争はゲームのように人を殺す

マズローの5段階欲求仮説

承認欲求が満足されないと理性が働かなくなる

自己実現の欲求(向上心、達成感、能力発揮したい)

自尊と承認欲求(認められたい、尊重されたい)

所属と愛の欲求(集団所属、帰属、愛されたい)

安全と安定の欲求(安全、健康、財産・・・)

生理的欲求(食欲、性欲、睡眠・・・)

集団の支配、アメとムチ

ウクライナ、パレスチナ

勝った先に何が得られるのか

認める必要はないが否定することもない

理解し合いたい

寛容の精神

関係の中でつながっている

